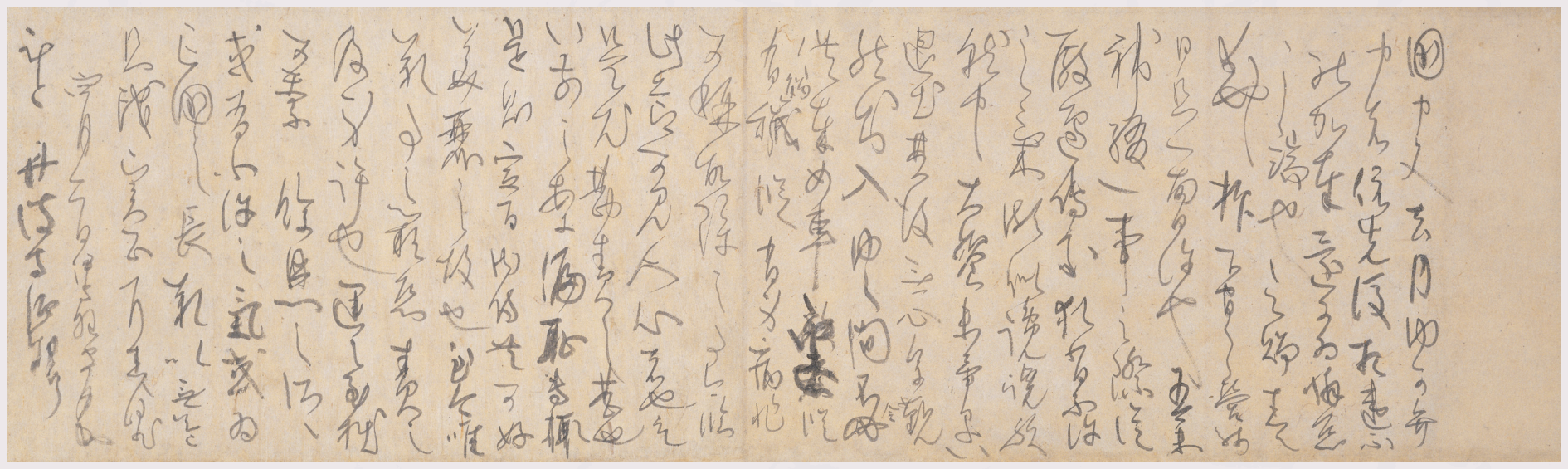


書、美、価値

～つたえるということ～

「書」とはなにか。
伝達手段の最たるもの、言語。
言語を固定化したもの、文字。
文字を表現したもの、書。
書は伝達手段のひとつであり、
文字を素材とした美術です。
この展覧会では、
日本の書の美を味わいつつ、
古来書が果たしてきた、
「つたえる」という役割に
焦点をあて、書の価値を
改めてみつめます。



藤原佐理筆国申文帖

主な展示品

- I 最古の漢字 一天につたえるー 甲骨文(実物/拓本)/大孟鼎拓本
- II 文字の伝播・普及 一人々につたえるー 琅琊台刻石拓本/六朝写経断簡/紫紙金字金光明最勝王経(国分寺経)/空海筆金剛般若経開題断簡
- III 仮名 日本語をつたえるための文字ー 藤原伊房筆藍紙本万葉集切/伝藤原佐理筆綾地歌切/伝紀貫之筆高野切第一種・第二種・第三種/伝小野道風筆八幡切/伝小野道風筆本阿弥切/伝藤原公任筆石山切
- IV 手紙 一人の人につたえるー 藤原佐理筆国申文帖/千利休書状/鳥丸光広書状/松花堂昭乗書状
- V 名跡 今につたえられる書美ー 小野道風筆絹地切藤原定家筆明月記切/伏見天皇筆古今集切/尊円親王筆能勢切/一休宗純筆大燈国師上堂語/近衛信尹色紙/本阿弥光悦筆竹下絵和歌巻/池大雅書幅/貫名松翁書幅

令和3年 開館時間 午前9時～午後4時半 休館日 月曜日(7月20日は開館し、21日は休館)
観覧料 一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料

9.11 [土] ▶ 10.3 [日]

開館40周年記念式典・講演会

- 9月11日[土]
式典・講演会 13:00～15:15
- ・テーマ 「つたえるということ」
 - ・講師 古谷稔氏(東京国立博物館名誉館員、道風記念館顧問)
福田哲之氏(鳥根大学教授、道風記念館顧問)
 - ・会場 道風記念館2階会議室
 - ・定員 50名(抽選)
 - ※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更する場合があります。
 - ・申込 8月22日[日]までに、道風記念館ホームページ
申込フォームか電話でお申し込みください。

開館40周年記念 来場者プレゼント

- 3つの展覧会をみてスタンプを集めた方に、
ささやかなプレゼントを差し上げます。
- ・企画展「おののとうふう」
7/16～9/5 会場：道風記念館
 - ・企画展「書のまち春日井」
9/1～9/12 会場：文化フォーラム春日井
 - ・特別展「書、美、価値 ～つたえるということ～」
9/11～10/3 会場：道風記念館



- ◆JR名古屋駅からJR中央線勝川駅下車、タクシー10分、徒歩30分
- ◆名二環上り線は松河ICから5.3分、下り線は小幡ICから5.5分
- ◆JR中央線大曾駅駅からゆとりーラインで川村駅下車、徒歩10分
- ◆JR中央線勝川駅または春日井駅からかすがいシティバス南部線で
——JR勝川駅発車時刻 9時35分・11時55分・14時13分
——JR春日井駅南口発車時刻 11時15分・13時31分・15時54分



春日井市道風記念館

〒486-0932 愛知県春日井市松河戸町5丁目9番地3
TEL 0568-82-6110
<https://www.city.kasuga.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>